



現地説明会に出かけましょう

この巻では、たいへん多くの、そしてさまざまな種類の遺跡を紹介してきました。でも写真からだけでは、遺跡の様子をイメージするのは難しいものです。しかも本巻で扱った遺跡の写真は小さいから、なおさらでしょう。

本巻を読んで、遺跡の発掘に興味をもたれた方は、ぜひ現地説明会にお出かけください。生の発掘現場を見る最良の機会です。地面に掘られた穴などの遺構は、一見ただで何かわかるものは少ないですが、そこは担当調査員が懇切丁寧に説明をします。説明を聞いてわからない点があれば、遠慮せずにどんな質問をしてみてください。

遺跡の様子が変わってくると、思いは古代に飛んでいきます。古代の情景も浮かんできます。その日からあなたは、考古学マニアの仲間入りです。

現地説明会は、県内で年に数十回は開かれています。情報は地元の方々はチラシや広報などで極力お知らせしています。新聞に載ったりテレビで放映されることもあります。また県の埋蔵文化財調査センターや、発掘を行っている市町村の教育委員会に問い合わせれば、情報を教えてください。生でしか味わえない感動をぜひ味わってみてください。



*もっと知りたい人のために

本巻で紹介した発掘調査された遺跡の多くは、その成果が報告書として刊行されています。報告書の量は膨大で、ここでは逐一紹介はできませんので、個々の遺跡についてもっと知りたい方は、図書館、島根県埋蔵文化財調査センター(0852 368608)、遺跡の所在する市町村教育委員会にお問い合わせください。

発掘調査の方法などについて

岩崎卓也・菊池徹夫・茂木雅博編

服部敬史

『考古学調査研究ハンドブック 1・2・3』雄山閣 一九八四

発掘調査の成果について

近藤喬一編 『図説 発掘が語る日本史 5 中国・四国編』新人物往来社 一九八六

前島己基 『日本の古代遺跡 20 島根』保育社 一九八五

田中琢・佐原真監修 『古代史復元』全10巻 講談社 一九八八

山本清 『古代出雲の考古学 遺跡と歩んだ七〇年』ハーベスト出版 一九九五

『鹿島を掘る よみがえる伝説の資料』鹿島町立歴史民俗資料館 一九九二

また島根県教育委員会では、発掘調査の内容をわかりやすくコンパクトにまとめた概報や、年度ごとの調査をまとめた埋蔵文化財調査センター年報(一九九二年から)、埋蔵文化財調査センターニュースを発行しています。ここでは近年発行された概報を紹介しておきます。

- 『川虎の棲む川 西川津・タテチヨウ遺跡調査の記録』一九八九
- 『石見空港建設予定地内遺跡発掘調査概報』工藤川 一九八九・一九九一
- 『古代の人々の暮らし』宮内遺跡は語る』一九九〇
- 『一般国道九号松江道路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査概報』一九九一・一九九二
- 『一般国道九号安来道路建設予定地内埋蔵文化財調査概報(白コクリ遺跡 岩屋口遺跡 越峠遺跡)』一九九二
- 『遺跡が語る古代の歴史 一般国道九号(安来道路)建設予定地内埋蔵文化財調査概報』一九九三
- 『むかしししまね』一九九三
- 『むかしむかしのそのむかし』益田市上久々茂土居跡・大峠遺跡の発掘調査から』一九九四
- 『塩津山1号墳 一般国道九号(安来道路)建設予定地内埋蔵文化財調査概報』一九九五
- 『遺跡が語る古代の安来』一般国道九号(安来道路)建設予定地内埋蔵文化財調査概報』一九九五
- 『かんとの流れ』志津見ダム建設予定地内の遺跡(1)』一九九五
- 『斐伊川放水路発掘物語』一九九五